

真龍小便り



真龍小学校の子ども

つながりを求める子
かかわりを求める子
納得を求める子



平成30年7月25日発行 No.6

8月のこよみ

楽しい夏休みのために

校長 武田 昌彦

入学式、遠足、運動会などの大きな行事を含め、前期第一ステージに予定されていた教育活動を、無事に終了できましたことは、皆様方のご協力のおかげと深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

さて、話は変わって「心配り、心配り、目配り」という言葉をよく耳にします。意味についてはおよそ理解はしていますが、本当はどうなんだろうと、ふと気になりました。知っているつもりでも間違っていたら…。調べるてみることにしました。すると「心配り」とは手抜かりの無いように注意すること。気遣い。「心配り」とはあれこれと気を遣うこと。心遣い。「目配り」とは細かい点まで注意を向け、確認すること。とありました。また、この三つの言葉をまとめて「配慮」とも言うようです。それにしても、「心配り、心配り、目配り」とは良い言葉ですね。相手や周囲に気持ち、心、目を配り注意を向ける。その先には「失敗しないように」とか「相手のことを思って」という願いが隠されています。「心配り」が足りないと人間関係がギクシャクしたりしますね。「心配り（心遣い）」は他人に対し、自分の心を配る、という表現。おもてなしや思いやりという心でしょうか、温かさを感じます。ホッとしますね。明日から夏休みに入り、子ども達は、ご家庭へ、地域へと帰っていきます。最高の夏休みになるようご家庭での配慮をお願いします。

この休みが、事故無く、8月21日（火）からの第二ステージ開始に、全員と笑顔で会えることを楽しみにしています。

3つのお願い

《命を大切に》

子どもたちの日常を見回すと、危険が思った以上に多いものです。注意事項を守ることも大切なことですが、自分で危険を予測して回避する力はもっと大切です。日常の生活の中で結果を予測するなど、考えながら行動してほしいと思います。

《休みでなければできないことを》

様々なことに挑戦して、体験の中から学んで欲しいものです。いろいろな体験から感じ、経験することで身につくことはとても多くあります。計画的に生活し、普段ではできないことに挑戦してほしいと思います。

《基本的な生活のリズムを守って》

成長を遂げる子どもたちにとって健康な体がすべての基盤となります。休み中は、生活のリズムが崩れやすいものです。「早寝、早起き、朝ごはん」に心がけて、規則正しい生活を送り、体調管理を子ども自身で行わせてほしいと思います。

普段よりゲームなどを長時間行いやすくなります。ゲームの時間は短めに！

日	曜	行事
1	水	
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	
8	水	
9	木	
10	金	
11	土	山の日
12	日	
13	月	開庁日
14	火	
15	水	
16	木	
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	
21	火	前期第二ステージ開始 朝会(講話) 教育実習開始・着任式(~9/20)
22	水	夏休み作品展~28日
23	木	
24	金	特別日課 クラブ③
25	土	
26	日	
27	月	参観日(2, 4, 6年)
28	火	5年宿泊研修 絵本箱読み聞かせ
29	水	5年生宿泊研修
30	木	5年回復休業
31	金	特別日課 委員会⑤ 避難訓練 生きがい大学

学校閉庁日について

国の働き方改革を受けて、北海道教育委員会では「学校における働き方改革」を策定しました。それに基づき厚岸町内の小中学校では、今年度より学校閉庁日を設けることとなりました。今年度は次の日程を学校閉庁日と致しますので、ご理解とご協力をお願い致します。

夏休み期間中：8月13日（月）～8月15日（水） 冬休み期間中：12月29日（土）～1月3日（木）

※学校閉庁日は職員が出勤しませんので、万が一お子様の事故や入院等により緊急で連絡が必要な場合は、学級担任に連絡をいただきますようお願い致します。

★2学期から石黒真梨先生・伊藤愛香先生のお二人が出産・育児のため、しばらくお休みとなります。元気な赤ちゃんの誕生を心から願っています。

第2ステージへ向けてステップアップするために

基礎学力をより定着させるためには、夏休み中の復習がとても大切です。今年も、教務主任の井上先生と、算数の少人数指導を担当している小川先生に、保護者の関わり方や学習のポイントをまとめてもらいました。

家族ぐるみで家庭学習を！

文責 教務主任 井上 哲平

今年度より、お子さんの家庭学習の取り組み方などについて学年に応じた関わりをお願いしているところですが、各家庭ではお子さんの状況をどの程度把握されているでしょうか。お子さんが学校で学んだことを確実に定着させるために、家庭で学習する時間を確保することはこの上なく大切なことです。遊びたい盛りの子供達ですので、やみくもに「やりなさい！」と言いつけても、自発的な学習にはなりません。そこで、お子さん自身が必要感を感じて学びを深められる環境作りについて、一緒に考えてみたいと思います。

①前向きな声かけを！

高圧的な命令口調や禁止の内容の声かけでは、お子さんはやる気になれません。お子さんが自分からやらなければならない（やりたくなる）状況に追い込む声かけを心がけてみましょう。

「勉強しないならゲーム禁止！」→「勉強が終わってからゲームしようか！」…（嫌なことは先に終わらせよう！）

「早く勉強しなさい！」→「今日はどんな勉強するの？」…（漢字って言っちゃったから、やらなきゃ！）

他にも…

「どれくらいできるようになったのか後で見せてね。」…（できるようになっているところを見せたいな！）

「字を丁寧に書けるようになってきたね！」…（褒められた！もっと丁寧に書いてみよう！）

帰宅後から就寝までの予定をお子さんの口から言わせることも効果があります。自分で言ったからにはその言葉に責任が発生するからです。

②集中して学習に取り組める環境作りを！

他の事に気を取られるような環境だと、なかなか集中して学習にのぞむことができません。きれいな机の上で、静かな部屋で、この2点だけでもかなり違ってきます。机の上に食べ物があつたり、雑誌があつたり、テレビがついていたり…。気が散ってしまうものは極力排除しましょう。

③学習状況のチェックを！

学習に限らずですが、一度身に付いた習慣はその後も継続していくものです。良い習慣も悪い習慣もです。そこで、1, 2年生のうち、良い学習習慣を身に付けるために、毎日お子さんに関わっていただきたいです。3, 4年生からは関わりを減らすことで、自主性を促します。いつまでも関わり続けると、自分から進んで学習することができなくなってしまうからです。5, 6年生からは週に1回程度の関わりとすることで、より主体的な学習習慣が定着していくでしょう。また、保護者の皆さんにとっても、学校で学んだことがお子さんにどれくらい定着しているのかを確認できたり、学校でどのような学習をしているのかを知るきっかけになったりもします。

学校は小さな社会です。子ども達は、成長して「社会」に飛び出した時に必要な生き方を学んでいます。今、怠ける子は大人になっても怠けてしまいます。今、やるべきことにきっちり取り組んでいる子は、大人になったときにいい仕事をするはず。お子さんの将来を見据え、学校、家庭、地域で協力し合いながら、成長を見守っていききたいですね。

算数の学習で気をつけてほしいこと

文責 算数少人数指導担当 小川 衛

◎定規(じょうぎ)を使ってね

おうちで勉強するときも筆算の線は定規でひいてください。位(くらい)のまちがいが少なくなるだけでなくノートがきれいになりますよ。「定規、なくてもいいかな〜。」の気持ちは「算数どうでもいいや」になってしまいます。方眼(ほうがん)に図形やぼうグラフなどをかくときも、まず目からはみ出ないようにかいてください。丁寧にしようと思うことの積み重ねが算数を得意にしてくれますよ。本当です。

◎教科書で勉強を

プリントなどでたくさん取り組むのもいいのですが、よい問題はやはり教科書にあります。

問題の中で青くなっている問題に取り組むだけでも効果があります。青の問題を間違えたら、その次に書かれている問題でおさらいしましょう。教科書、大事です。

◎困った時は相談してね(ふだん少人数教室に来ていない人も。)

宿題や課題など、困ったことがあったら学校(小川)まで連絡してください。

また、都合が合えば学校で勉強することもできますのでご相談ください。お待ちしております。



H30.8月のおすすめ本紹介

担当：学校司書 小島郁子

◇『お月さまってどんなあじ?』

○マイケル・グレイニエツ絵と文 ○いずみちほこ(訳) ○セーラー出版(発行)

お月さまってどんなあじなんだろう。あまいのかな。しょっぱいのかな。ほんのひとくちたべてみたいね。

みなさんも一度はこんな風に思ったことがあるのではないのでしょうか?季節によって色も見え方もちがうお月さま。春の霞がかかったオレンジ色の月は、ほろほろと柔らかく、とっても甘くておいしそう。冬の澄み切った夜空に浮かぶ青い月は、かじったらパリパリと音がしそうなくらいに堅く、なんだかしょっぱそうです。

動物たちもおんなじで、みんなお月さまをかじってみたいと思っていました。

ある日、ちいさなカメが決心します。一番高い山に登って、お月さまをかじってみよう。けれども、どんなに首や手や足をのぼしても、お月さまにはとどきません。そこでカメはゾウをよんで、それでも届かずキリンをよんで・・・

さて、動物たちはお月さまにとどいたのでしょうか。そして、お月さまはどんな味がしたのでしょうか。

学校図書室と情報館に所蔵があります。ぜひ、きれいな月夜にこの本を読んで、空を見上げてみてください。

